

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	日本語表現	
科目基礎情報							
科目番号	0001		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	経営情報工学専攻		対象学年		専1		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	阿部紘久『文章力の基本100題』（光文社新書）						
担当教員	赤迫 照子						
到達目標							
①語彙力・表現力を高めることができる。 ②文の基本的な型を習得できる。 ③小論文が書ける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	ことばに関心を抱き、自主的に語彙力・表現力を高めることができる。		自主的に語彙力・表現力を高めることができる。		語彙力・表現力を高めることができる。		語彙力・表現力を高めることができない。
評価項目2	文の基本的な型をふまえて、簡潔かつ明瞭な文章が書ける。		文の基本的な型をふまえて、明瞭な文章が書ける。		文の基本的な型を習得できる。		文の基本的な型を習得できない。
評価項目3	論理的で、文の基本的な型をふまえた小論文が作成できる。		文の基本的な型をふまえた小論文が作成できる。		小論文が作成できる。		小論文が作成できない。
学科の到達目標項目との関係							
JABEE (f) 教育目標 (G) ①							
教育方法等							
概要	第4学期開講。 日本語表現力を育む。具体的には「使用語彙を豊かにする」「一文一文を丁寧に書く」「論理的な小論文を作成する」である。						
授業の進め方・方法	①語彙力・表現力を高めるための練習問題に取り組む。 ②文の基本的な型を習得するための演習問題に取り組む。 ③小論文を書く。作成準備の際には討議を行う。						
注意点	・小テストと定期試験は、国語の常識問題である。 ・レポートは締切厳守。締切を過ぎたものは受けつけない。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 語彙力・表現力問題			漢字・故事成語・ことわざ・敬語などの学習を通して、語彙力・表現力を高める。	
		2週	語彙力・表現力問題 文章の基本的な型①			語彙力・表現力を高める。 文の基本型を作ることができる。	
		3週	語彙力・表現力問題 文章の基本的な型②			語彙力・表現力を高める。 簡潔に書く方法を理解できる。	
		4週	語彙力・表現力問題 文章の基本的な型③			語彙力・表現力を高める。 分かりやすく書くための方法を理解できる。	
		5週	語彙力・表現力問題 文章の基本的な型④			語彙力・表現力を高める。 的確に書くための方法を理解できる。	
		6週	語彙力・表現力問題 文章の基本的な型⑤			語彙力・表現力を高める。 共感を得る書き方を理解できる。	
		7週	語彙力・表現力問題 文章の基本的な型⑥ 小論文作成の準備			語彙力・表現力を高める。 書き言葉と話し言葉の差異を理解できる。 小論文作成の準備方法を理解できる。	
		8週	語彙力・表現力問題 小論文作成①			語彙力・表現力を高める。 小論文の作成方法を理解できる。	
	4thQ	9週	語彙力・表現力問題 小論文作成②			語彙力・表現力を高める。 小論文を作成できる。	
		10週	語彙力・表現力問題 小論文作成③			語彙力・表現力を高める。 小論文を作成できる。	
		11週	語彙力・表現力問題 小論文作成④			語彙力・表現力を高める。 小論文を作成できる。	
		12週	語彙力・表現力問題 小論文作成⑤			語彙力・表現力を高める。 小論文を作成できる。	
		13週	語彙力・表現力問題 小論文作成⑥			語彙力・表現力を高める。 小論文を作成できる。	
		14週	語彙力・表現力問題 小論文作成⑦			語彙力・表現力を高める。 小論文を作成できる。	
		15週	定期試験				
		16週	試験返却・解説			学習の総まとめができる。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				代表的な文学作品を読み、人物・情景・心情の描写ならびに描写意図などを理解して味わうとともに、その効果について説明できる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				文章を客観的に理解し、人間・社会・自然などについて考えを深め、広げることができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				鑑賞にもとづく批評的な文章の執筆や文学的な文章（詩歌、小説など）の創作をとおして、感受性を培うことができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				読書習慣の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの見方を習得して自らの表現の向上に生かすことができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用句、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語等の基礎的知識についての理解を深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を適切に活用して表現できる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				代表的な古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				古文・漢文について、音読・朗読もしくは暗唱することにより、特有のリズムや韻などを味わうことができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				代表的な古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。また、それらに親しもうとすることができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				教材として取り上げた作品について、用いられている言葉の現代の言葉とのつながりや、時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得できる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

				情報の収集や発想・選択・構成の方法を理解し、論理構成や口頭によるものを含む表現方法を工夫して、科学技術等に関する自らの意見や考えを効果的に伝えることができる。また、信頼性を重視して情報を分析し、図表等を適切に活用・加工してコミュニケーションに生かすことができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				他者の口頭によるものを含む表現について、客観的に評価するとともに建設的に助言し、多角的な理解力、柔軟な発想・思考力の涵養に努めるとともに、自己の表現の向上に資することができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				相手の意見を理解して要約し、他者の視点を尊重しつつ、建設的かつ論理的に自らの考えを構築し、合意形成にむけて口頭によるコミュニケーションをとることができる。また、自らのコミュニケーションスキルを改善する方法を習得できる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				社会で使用される言葉を始め広く日本語を習得し、その意味や用法を理解できる。また、それらを適切に用い、社会的コミュニケーションとして実践できる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合					
	試験	レポート	小テスト	口頭発表	合計
総合評価割合	10	70	10	10	100
知識の基本的な理解	10	40	10	5	65
思考・推論・創造への適用	0	20	0	5	25
汎用的技能	0	10	0	0	10
態度・志向性(人間力)	0	0	0	0	0
総合的な学習経験と創造的思考	0	0	0	0	0